

具体的事象の抽出シート 整理表

資料 2

(1) 子育て ①

氏名 (敬称略)	具体的事象		
	各委員から記載いただいた内容	整理後	No.
	・保育園の入園選定で、現在家で子供を見る人がいなければ一番、いれば二番になっているようだが、それではこれから仕事を探そうと思う人は無理なように思う。	・母親が働かずに育児をしていると保育園入園の優先順位が低くなり、今後就労を希望する場合に支障をきたしている。	1
	・少子化の中、二子、三子に対してまだ助成が足りないように思う。	・第2子、第3子への助成が不十分で、少子化の一因となっている。	2
	・少子化対策の子育て支援として、子育て世帯に公共料金（市営住宅料金・上下水道料金・下水道料金等）の一部を減免する施策が必要と考えます。	・子育て世帯の経済的負担（公共料金等）が大きく、少子化の一因となっている。	3
	・保育料等の無料化をすれば安心して子供を産み育てることができ、人口も増えるのではないのでしょうか。	・保育料等の経済的負担が大きく、少子化の一因となっている。	4
	・若い世代には、収入が少なくても頑張っている人達がいる。保育料に限らず、支援する内容の拡大を図ることが望まれる。収入によっては第1子から無料化することも必要でないか。	・低所得世帯にとっては保育料等の経済的負担が大きく、少子化の一因となっている。	5
	・来年度から第3子の保育料無料化検討の報道を見たが、第1子から減額をして、産み育てやすくしてほしい。	・保育料の経済的負担が大きく、少子化の一因となっている。	4
	・雨天、積雪時にも遊べる公園等がない。	・悪天候時に遊べる公園等がなく、「遊び」の機会が減っている。	6
・子育て支援センターの利用時間（AM・PM）、休日利用不可。	} ・子育て環境（施設、サービス）が十分に整備されておらず、少子化の一因となっている	7	
・例えば、坂町病院内で病児保育ができたなら良い。			
・公共施設に、授乳・おむつ替え場所の設置が必要。			
・子供たちも高齢者も一緒に元気になる併設公共施設（統廃合で不使用中の公共施設を利用できるか？）			
・「トキッ子くらぶ」の村上市の参加店舗が少ないので、商工会、行政コラボで宣伝し、子育てし易い村上市に変身可能。			

具体的事象の抽出シート 整理表

(1) 子育て ②

氏名 (敬称略)	具体的事象		
	各委員から記載いただいた内容	整理後	No.
	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具の安全を点検し、使用不可の場合は速やかに新しいもの（廃園になった中古など）に取り換えるべき。（公園は楽しいところでなければならない。） ・老朽化し、使用不可となった遊具や撤去した遊具が増え、日常的に利用できない状況にある。 ・未就園児の「学び、遊び」の機会が少ない。 ・保育園で、幼児期の体力及び運動能力向上に対する取組がない。大切な時期に、園での日常的な部分に取り入れる必要がある。学童保育や子育て支援センターなど、他団体との連携が必要ではないか。 ・神林地区の子育ては豊かな自然の活用で。公私地を問わず、里山・田んぼ・川・海岸等での遊び場の紹介。その後、活用状況を考慮し、地区指定を考え、指定された遊び場が認証或いは認定となったら、維持管理費の助成を行い継続の手助けをする。 ・保育園はすべて無料にする。 ・放課後も学校にイれるシステムを作り、親が迎えに来られるまでの学童保育の充実。 ・子育て中のママさんの集まれる場所を作る。月1回ぐらいはあるらしいが、週1回ぐらいのペースでやるようにする。 ・地域・家庭保育の支援。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・農村公園で、劣化して使用できない遊具が増え、子どもたちが公園で遊べなくなっている。 	8
		<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化し、使用不可となった遊具や撤去した遊具が増え、子どもたちが公園で遊べなくなっている。 	9
		<ul style="list-style-type: none"> ・未就園児の「学び、遊び」の機会が少ない。 	10
		<ul style="list-style-type: none"> ・保育園で、幼児期の体力及び運動能力向上に対する取組がなく、体力や運動能力が低下する一因となっている。 	11
		<ul style="list-style-type: none"> ・神林地区の豊かな自然を活用した遊び場が整備されておらず、子どもたちが自然に親しむ機会が少なくなっている。 	12
		<ul style="list-style-type: none"> ・保育料の経済的負担が大きく、少子化の一因となっている。 	4
		<ul style="list-style-type: none"> ・仕事で帰りが遅くなる家庭は、子どもを預けられる場所がなく（不十分で）困っている。 	13
		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の母親が、悩みなどを相談し合える場所が少なく、一人で悩みを抱えている人も見受けられる。 	14
		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちを地域や家庭で保育するための支援が不十分で、少子化の一因となっている。 	15

具体的事象の抽出シート 整理表

(2) 買い物 ①

氏名 (敬称略)	具体的事象		
	各委員から記載いただいた内容	整理後	No.
	・管内にはお店のない集落が数多くあります。また、一人暮らしで買い物に行けない人もいます。集落廻りの行商人も少なくなっています。そんな行商人と市とで連携を取り、手助けできないでしょうか。	・集落内の店や行商人が減り、買い物に困っている高齢者が増えている。	1
	・高齢者家庭では、日常の買い物に不便を感じている人が多い。買い物支援隊のような組織を立ち上げることが必要ではないか。	・高齢者家庭では、車の運転ができないなど、日常の買い物に不便を感じている人が多い。	2
	・高齢者が増える中で車を持たない人が多く、買い物に行けない。そこで、昔あった「ひまわり号」を復活させても良いと思う。	・車を運転できない高齢者が多く、買い物に行けない人が増えている。	3
	・高齢者世帯や独り暮らし世帯の増加に伴い、日常の生活支援や支え合い活動が問われております。そのための、具体的な地域支援制度の施策が望まれております。	・高齢者世帯や独り暮らし世帯が増加し、買い物等の日常生活が困難な世帯が増えている。	4
	・交通手段のない高齢者が多く、日々の買い物にも困っている。単に交通手段の問題と捉えず、複合的な要素で解決できるものを考える必要がある。	・交通手段のない高齢者が多く、日々の買い物にも困っている。	5
	・個人商店が後継者不足等でどんどん閉店しているので、何らかの支援が必要。	・個人商店が後継者不足等でどんどん閉店し、近くで買い物できる店が少なくなっている。	6
	・大型郊外店が増えているが、運転できない高齢者の日常の買い物が困難なので、NPO 法人を立ち上げ、移動販売や配送サービス等を支援する。	・大型郊外店が増えているが、運転できない高齢者は日常の買い物に困っている。	7
	・免許返納する高齢者に支援。	・高齢になり免許返納をすると買い物に行けなくなるので、返納できない(しない)人も増えている。	8
	・地区地域によっては、高齢者の買物難民を何とかする。	・高齢者の買物難民が増えている。	9

具体的事象の抽出シート 整理表

(2) 買い物 ②

氏名 (敬称略)	具体的事象		
	各委員から記載いただいた内容	整理後	No.
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や車の運転ができない方等の買い物弱者が、親戚や近所の方に依頼するケースが見受けられる。 ・若者に対して購買意欲を掻きたてる店舗の拡大。 ・買い物弱者対策の支援。 	・高齢者など車の運転ができない人が増え、親戚や近所の人に依頼するケースが見られる。	10
		・若者向けの店舗が少なく、若者は市外へ出かけて買い物をしている。	11
		・買い物弱者が増えている。	12

具体的事象の抽出シート 整理表

(3) 交通

氏名 (敬称略)	具体的事象		
	各委員から記載いただいた内容	整理後	No.
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域が広く、散在している。バスの運行も少ない。高齢者（自動車運転困難者）の移動が難しい。オンデマンドも実施されているが、今一つ浸透していないように見受けられる。買い物・交通と合わせて回答を組み立てていけたらよい。 ・買い物弱者・通院弱者のために、福祉タクシーよりきめ細やかで地域密着型のボランティアタクシー（のようなもの）が、近い将来必要になるのではないか。 ・公共交通（バス、鉄道）が不便。バスをたまに見かけても、お客様が乗っていても数人しかいないので、バスの代わりにジャンボタクシーを運用してはどうでしょうか？ ・通院対応ののりあいタクシー、荒川・神林地区のりあいタクシーはありますが、ますます需要が見込まれるので、なお一層の拡大を望む。 ・現在の「のりあいタクシー」は主に病院が拠点となっているので、これを拡大してスーパー等でも利用できれば利便性が高まる。 ・地区によって違いがあるが、路線バス（新潟交通）に大金を使っていると思うので、見直しが必要だと思う。特に岩船～岩船町駅までのバスは誰も乗っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域が広く、公共施設・病院・スーパー等が散在しているが、バスの運行も少なく、高齢者や車の運転ができない人は移動が困難になっている。 	1
		<ul style="list-style-type: none"> ・買い物弱者や通院弱者が利用できる交通手段の整備が不十分で、買い物や通院に不便を感じている人が増えている。。 	2
		<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通（バス、鉄道）の便が悪く、利用者も少ない。 	3
		<ul style="list-style-type: none"> ・のりあいタクシーはあるが、まだ買い物や通院に不便を感じている人が多い。 	4
		<ul style="list-style-type: none"> ・現在の「のりあいタクシー」は主に病院が拠点となっており、買い物等に利用しにくいと感じている人も多い。 	5
		<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの運行が効率的でなく、利用者が少ない。 	6

具体的事象の抽出シート 整理表

(4) 教育 ①

氏名 (敬称略)	具体的事象		
	各委員から記載いただいた内容	整理後	No.
	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化で、小学校では団体遊びができない状態である。中学校でもクラブ活動の他校試合などができない部活もあるようだ。統合も計画はあるようだが、徐々に考えていかなければと思う。 ・中学校の統合、小学校の統合を進める。 児童・生徒の減少により、地域内の学校は全て小規模化している。特に中学校は、生徒の適正・希望を生かせる規模が必要と考える。 ・保育園は神納地区で一箇所になったのに、小学校でバラバラになり、中学校でまた一つになる。早く小学校も一つにまとめてほしい。 ・どこも子供が少なくなってきたので、小学校・中学校の統合が必要です。 ・小中学生ばかりでなく、親の教育もやる事は出来ないものではないでしょうか。PTA 内での教育もいいですね。 ・「教育のまち村上」では、学校支援地域本部事業により家庭・地域・学校が一体となった教育環境づくりを推進するとしていますが、各地区まちづくり協議会と連携した環境（教育）づくり・地域づくりを進める必要があると考えます。 ・神林地区の学校統合の話は、「望ましい教育環境整備検討委員会」においても、平成 19 年度に旧神林村で答申した内容を優先すべきと神林地区の委員は申し上げております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化で、小中学校では団体活動やクラブ活動が困難になってきている。 	1
		<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の減少により地域内の学校は全て小規模化し、生徒の適性や希望を生かす教育が困難になってきている。 	2
		<ul style="list-style-type: none"> ・神林地区の小学校は保育園や中学校よりも数が多く、少子化で学年の人数も少なくなり、集団活動等が困難になっている。 	3
		<ul style="list-style-type: none"> ・少子化で児童・生徒の数が減り、教育活動に支障をきたしている。 	4
		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの教育ができない親が増えている。 	5
		<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域本部事業と各地区まちづくり協議会との連携が不足しており、家庭・地域・学校が一体となった教育環境づくりが十分に推進されていない。 	6
		<ul style="list-style-type: none"> ・合併前に答申した小中学校の統合が進んでおらず、少子化が進行して教育活動に支障をきたしている。 	7

具体的事象の抽出シート 整理表

(4) 教育 ②

氏名 (敬称略)	具体的事象		
	各委員から記載いただいた内容	整理後	No.
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の小規模化や教員の高齢化等により、体育の授業において児童に手本を見せるのが難しい場合、チームティーチングなど小学校の課題解決として、現在、地域の人材を活用した派遣事業を予算化してもらい実施しているが、限られた財源のため、思うような支援ができていない。各地区均等制で、必要としているかどうかではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の小規模化や教員の高齢化等により、体育の授業において児童に手本を見せるのが難しい等の問題が生じている。 	8
	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団などの過熱化により、単一種目集中傾向にあり、多種目経験ができない状況にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団などの過熱化により、単一種目集中傾向にあり、多種目経験ができない状況にある。 	9
	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後の活動につき、校内活動と校外活動の情報共有ができたらさらに充実した空間を作ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化により、部活動が存続危機に陥ったり、希望する種目ができない状況になっているが、それに対応する放課後活動の対策が取られていない。 	10
	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化による部活動の存続危機や希望の種目ができない状況において、地域との連携による場作りが必要。 		11
	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後の居場所作りにおいて、施設やバスなどの不足により、受入態勢ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動実施率が向上せず、運動不足の人が増えている。 	11
	<ul style="list-style-type: none"> ・運動実施率が向上していない。運動をしていない人を巻き込むきっかけ作りと自主的な運動意欲を啓発する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育が十分に浸透しておらず、「食」の大切さに対する子どもたちの意識が低い。 	12
	<ul style="list-style-type: none"> ・「生きる事は食べる事」赤ちゃんの時から食生活が一生を左右するので、食育をもっともっと浸透させた方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サイバー犯罪、ネットトラブル、ネットいじめ等が増加し、子どもたちが巻き込まれるケースも増えている。 	13
	<ul style="list-style-type: none"> ・サイバー犯罪、ネットトラブル、ネットいじめ対策が早急に必要。(個人では対処できないので、市全体で利用制限等の対策が必要。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災教育が十分に浸透しておらず、子どもたちの、災害等に対する危機管理意識が低い。 	14
	<ul style="list-style-type: none"> ・「釜石の奇跡」のように防災教育を学校の授業に取り入れ、子供の頃から危機管理能力を養うことが必要。 		

具体的事象の抽出シート 整理表

(4) 教育 ③

氏名 (敬称略)	具体的事象		
	各委員から記載いただいた内容	整理後	No.
	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちに郷土神林地区の良さを知ってもらうために、夏休み・春休み中等に市内各地の名所巡りがあつたら良い。 ・現在、生涯学習等では送迎バスの利用が可能であるが、スポーツにもバス利用が可能になれば、スポーツ環境が良くなると思う。 ・生涯スポーツの推進 ・文化協会等の活動支援 	・神林地区内の施設等を見学する機会が少なく、地区の良さを知らない子どもたちが増えている。	15
		・スポーツ活動へのバスの送迎がなく、スポーツをする人が増えない一因となっている。	16
		・各年代層で、スポーツ（運動）をする人が増えない。	17
		・文化団体への加入者が減り、各団体の活動が困難になってきている。	18

具体的事象の抽出シート 整理表

(5) 行政 ①

氏名 (敬称略)	具体的事象		
	各委員から記載いただいた内容	整理後	No.
	・もう少し上下関係での話し合いをしてほしい。たとえば、春に退職される方が、よく引き継ぎをしておらず、一からやり直しがあった。	・職員の退職や人事異動の際の引き継ぎが不十分で、業務を停滞させることがある。	1
	・縦割り行政の打破。同じ目的について、担当課を超えて取り組む必要がある。	・縦割り行政が解消されておらず、効率的な業務の推進がなされていない。	2
	・新しい取組への行政職員の意識や知識のスキルアップを望みます。	・新しい取組に対する職員の意識や知識が低く、活性化が進まない一因となっている。	3
	・地域と行政の役割分担も必要だが、民間活力の利用はもちろん、地域全体を巻き込んでいかないとこれからは立ちいかなくなる。	・民間活力の利用等がまだ十分でなく、地域全体を巻き込んだ活性化が遅れている。	4
	・住民サービスの一部低下。(職員の繁忙が原因?)	・職員数の減などにより、住民サービスが一部低下している。	5
	・行政運営は、行政がリーダーシップを発揮して住民参加を促して共に行う方向が望ましいので、まず職員が手本を示し、行動してもらいたい。	・職員のリーダーシップが不足しており、住民参加が促進されない一因となっている。	6
	・合併して8年目になりますが、まだ地区間格差がいろいろな面でみられる。	・合併して8年目になるが、まだ地区間格差がいろいろな面でみられる。	7
	・若い人を巻き込んで、希望あふれる明るい村上市のビジョンを作り、協働作業が必要。(ex. 高校生、新潟リハビリテーション大学生、都会・市外の大学生)	・若者を巻き込んだビジョンづくりが不足しており、若者に魅力のあるまちづくりが推進されていない。	8
	・地域毎にまとめる計画もよいが、内容によっては地域をまたがる(超える)ものがある。各地域を横断する計画を視野に入れてほしい。	・地域をまたがる(超える)課題を視野に入れた計画づくりが必要である。	9

具体的事象の抽出シート 整理表

(5) 行政 ②

氏名 (敬称略)	具体的事象		
	各委員から記載いただいた内容	整理後	No.
	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が大量に仕事を抱えて大変な部署もあるし、人によってできる人、不得意な人があり、適材適所でいつまでも同じ部署は良くないので、交流が大事と思う。 ・経費削減はわかるが、保育士は臨時を減らし、専門職にお願いしたい。 ・できるだけ民間に任せられるところは任せてください。指定管理は良い。 	・職員の業務量や個々の能力に差があり、効率的な行政運営がなされていない。	10
		・保育士は臨時職員が増え、正職員が減り、保育に不安を感じる人も見受けられる。	11
		・民間活力の利用等がまだ十分でなく、効率的な行政運営がなされていない。	12

具体的事象の抽出シート 整理表

(6) その他 ①

氏名 (敬称略)	具体的事象		
	各委員から記載いただいた内容	整理後	No.
	・企業を誘致するにも、工場を建てる土地がない現状です。土地を確保して工場を建て、安心して働く場所ができれば、人口減少を少なくする事ができるとも思います。	・企業誘致をする土地も少ないので働く場所（企業）が増えず、人口減少の一因となっている。	1
	・神林には、道の駅を起点として、塩谷の町屋、平林城跡、ポーラスター、お幕場森林公園、大池等の活性化、観光ルートを道路で結んでほしい。	・神林地区の観光資源を結ぶ取組がなく、観光客が増えない一因となっている。	2
	・人口減少対策の一つとして、今後大都市部の高齢化が大きな課題とされている。定年後の高齢者等の「移住」の受け入れ施策も必要と考える。	・都市部からの移住等を推進するような取組がされておらず、人口減少の一因となっている。	3
	・自然をアピールするのは良い事だが、学生や若者は市外に出て休日を楽しんでいるようだ。管内にもレジャー施設ができないものか。	・学生や若者がレジャーを楽しめる場所が少なく、地域に魅力を感じない（市外へ転出する）一因となっている。	4
	・村上病院建設が何で進まないのか。早くしないとよその病院に予算を取られてしまう。	・村上病院の建設が進まず、地域医療体制に不安が生じている。	5
	・健康寿命世界一を目指す。神林支所や支所付近一帯の公共的施設の使用目的などを見直し、それらの施設管理を一元化し、区民の多様なニーズに対応できるようにし、心身ともに健康で長寿な地区を目指す。	・高齢化が進み、健康寿命を延ばす取り組みへのニーズが高まっている。	6
	・神林道の駅に多目的利用施設を。豊かな自然や地区特有の環境を前面に出し、山・田・川・海での遊びや体験、農林水産物の活用や販売、また地区ならではの歴史、文化、風習等の案内など、現神林道の駅を大きくリニューアルし、多目的利用施設とする。	・神林地区の拠点施設の整備が進められておらず、観光客や交流人口が増えない一因となっている。	7

具体的事象の抽出シート 整理表

(6) その他 ②

氏名 (敬称略)	具体的事象		
	各委員から記載いただいた内容	整理後	No.
	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て前の対策（人口減少・少子化）として、田舎では合コンにも限界があり、おせっかいおばさん（キューピット係）を臨時職員として雇用できないものだろうか。 ・洋上風力発電が実施された後の“姿”を早く想定する。必要なインフラ整備の計画を早く打ち立てる必要がある。 ・産業の活性化等の検討。地域内の各企業の販路はどういう状態か、地域内の就職先はどこか、地域製品のブランド化対策 etc. 基本的なデータを整理し、市外・県外へ発信する対策を考える必要がある。 ・観光を含め、交流人口を増やす。 ・Iターン、Uターンを進める。特に団塊の世代にPRする。（自分の生まれた所に帰りませんか。田舎で農業しませんか。田舎で住みませんか。など） ・長寿社会になり、高齢者の方に少しでもみんなの世話にならない方法を考える。健康保険がパンクするので、健康な人にはポイントカードをやる仕組みを考える。 ・65歳以上のシニア学校を作り、社会教育の中で高齢者の病気予防教育を実施する。ポイントカードを作り、実行できた人には単位を付ける。 ・防犯の意味で、外灯を増やしてほしい。 ・一人暮らしの高齢者や二人暮らしの高齢者にタブレットを預けて、連絡や買い物に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚しない（できない）男女が増え、人口減少の一因となっている。 	7
		<ul style="list-style-type: none"> ・洋上風力発電の計画が進められているが、それに呼応した地域産業振興の計画づくりが十分に検討されていない。 ・地域産業の現状や基本的データの分析が十分にされておらず、産業の活性化が進まない一因となっている。 	8
		<ul style="list-style-type: none"> ・観光客や交流人口が増えず、地域産業が活性化しない。 	9
		<ul style="list-style-type: none"> ・Iターン、Uターンで移住してくる人が少なく、人口減少の一因となっている。 	10
		<ul style="list-style-type: none"> ・長寿社会で医療機関を受診する人が増えており、医療費の負担増や健康保険制度の維持が懸念されている。 	11
		<ul style="list-style-type: none"> ・外灯（防犯灯）が少なく、防犯上の不安を感じる所がある。 	12
		<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしや高齢者世帯が増え、安心して暮らせない（不安を感じている）人が増えている。 	13

具体的事象の抽出シート 整理表

(6) その他 ③

氏名 (敬称略)	具体的事象			
	各委員から記載いただいた内容	整理後	No.	
	<ul style="list-style-type: none"> ・体験型観光について、もっと力を入れるべき。体験部分の商品化・プログラム化がなされていないので、交流人口の拡大が図れていない。その商品化ができると、コミュニティビジネスの創出につながる。 ・施設福祉が充実していない。施設の空きや費用面で配慮がないため、在宅福祉でいくしかない状況。 ・がん患者の退院後をケアする場がない。(がんサロン等) ・ボランティア育成への支援。(個人、企業、団体 etc.) ・地元農林水産物の6次産業化への援助。 ・自然を生かした農林水産業作業の体験観光や、農家民宿の推進。 ・少子化対策の一環として、婚活事業の推進。 ・坂町病院の医療体制の充実。(特に産婦人科、整形外科は常勤医不足) ・公共施設への多機能休憩所の設置希望。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験型観光が商品化・プログラム化されておらず、交流人口が拡大しない一因となっている。 	14	
		<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設が不足しており、在宅介護で苦労している人が多い。 	15	
		<ul style="list-style-type: none"> ・がん患者の退院後をケアする場がない。(がんサロン等) 	16	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動への支援が不十分で、ボランティアの数が増えない一因となっている。 	17	
		<ul style="list-style-type: none"> ・農林水産業の6次化や、体験観光・農家民宿等への取り組みが進まず、農林水産業が低迷している。 	18	
		<ul style="list-style-type: none"> ・結婚しない(できない)男女が増え、人口減少の一因となっている。 	19	
		<ul style="list-style-type: none"> ・坂町病院の常勤医不足(特に産婦人科、整形外科)が深刻化してきており、地域医療体制が衰退している。 	20	